

第1回審議会でいただいた主なご意見と 対応状況について



ハロートレーニング
——急がば学べ——

第1回審議会でいただいた主なご意見と対応状況について

区分	内容	対応状況	骨子案への反映
訓練内容	<知花委員> 障がい者向けコースの充足率が低い。訓練内容の検討に当たっては、障がい者団体や支援機関へのヒアリングを実施してほしい	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者支援機関等へのヒアリングを実施（12団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者のニーズを踏まえた訓練科を検討（精神障がい者） 民間委託の可能性を調査
	<我喜屋委員> DX、ICTに対応した訓練の導入はどう考えるか	<ul style="list-style-type: none"> 業界団体等へのヒアリングを実施（33団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな訓練ニーズに対応したカリキュラムの検討 企業と連携したカリキュラムの導入を検討（外部講師・委託実習等） 技術進展等に応じた訓練に必要な設備を整備
	<金城委員> デジタル技術を活用した職業訓練の実施はどう考えるか	<ul style="list-style-type: none"> 事業者アンケートを実施（460件） 	
	<外間委員> DXに対応する人材育成が重要。企業ニーズを見据えて検討すべき		<ul style="list-style-type: none"> 産業界の訓練ニーズを反映させるため意見交換の場を設定
民間の役割分担・連携	<長濱委員> 普通課程（学卒者訓練）については、専修学校に影響があり、議論の対象としてほしい	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校（9校）へのヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 専修学校との役割分担を整理
	<澤嶌委員> 経済的な理由で専修学校に行けない生徒もいることを踏まえ、役割分担をしてほしい	<ul style="list-style-type: none"> 教育庁、高等学校へのヒアリングを実施（7箇所） 	
	<宮城会長> 民間との協議の場を設けることは検討しているか		<ul style="list-style-type: none"> 産業界の訓練ニーズを反映させるため意見交換の場を設定（再掲）

ヒアリング件数は12/12時点

第1回審議会でいただいた主なご意見と対応状況について

区分	内容	対応状況	骨子案への反映
施設設備について	<澤嶺委員> 老朽化施設の整備については今後検討が必要	<ul style="list-style-type: none">2校の建物16棟のうち劣化度が高い9棟に対し簡易調査を実施	<ul style="list-style-type: none">令和8年度に施設整備計画策定に着手
	<我喜屋委員> 現場では熱中症対策が大きな問題となっているので、対策の充実が必要	<ul style="list-style-type: none">訓練生（在校生・修了生）アンケートを実施（387件）	<ul style="list-style-type: none">安全な訓練実施に必要な修繕を適時実施
	<長瀬委員> 施設を新たにつくるだけでなく、民間施設を活用する方法もあるのではないか	<ul style="list-style-type: none">専修学校（9校）へのヒアリングを実施	<ul style="list-style-type: none">訓練の委託化、民間設備を利用した委託実習を検討
訓練指導員	<仲村委員> 技能人材が不足する中で、指導員確保の具体的な対策はどう考えているか	<ul style="list-style-type: none">九州各県の指導員確保の状況と対策について情報収集を実施	<ul style="list-style-type: none">正職員化研修へ参加しやすい体制の確保

ヒアリング件数は12/12時点